

日医認定産業医制度研修会開催一覧

◇産業保健部◇

開催日時	開催場所	主なテーマおよび講師	単位数	連絡先
平成28年2月4日(木) 18:30～20:30	ホテルサンプラザ (岩見沢市) 定員:50名 (事前に申し込みが必要です)	・改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度について 岩見沢労働基準監督署長 鈴木勘次郎 ・ストレスチェック制度と産業医の役割 医療法人母恋天使病院精神科長 山本 晋	基礎研修 後期2 生涯研修 更新1・専門1	岩見沢市医師会 (0126-23-7788)
平成28年2月10日(水) 14:00～16:00	トヨタ自動車北海道㈱ (苫小牧市) 定員:40名 (事前に申し込みが必要です)	・工場施設見学	基礎研修 実地2 生涯研修 実地2	苫小牧市医師会 (0144-33-4720)
平成28年2月18日(木) 18:30～20:30	札幌市医師会館 (札幌市) 定員:200名 参加費:1,000円 ※札幌市産業医協議会会員は無料 (事前の申し込みは不要です)	・ストレスチェック制度をめぐって 北海道労働保健管理協会相談役・医療本部長 清田 典宏	基礎研修 後期2 生涯研修 更新2	札幌市医師会 (011-611-4181)
平成28年2月19日(金) 18:30～21:00	旭川トーヨーホテル (旭川市) 定員:100名 (事前に申し込みが必要です)	・法規の解説 ・ストレスチェック制度について 旭川労働基準監督署長 新田 稔 ・職場で遭遇する精神疾患とその対応 医療法人社団志恩会相川記念病院院長 中條 拓	基礎研修 後期2.5 生涯研修 更新1・専門1.5	旭川市医師会 (0166-23-5728)
平成28年3月5日(土) 14:00～17:00	札幌市立大学桑園キャンパス大講義室 (札幌市) 参加費:2,000円 日本産業衛生学会北海道地方会 第19回産業保健研修会	・最近の労働衛生行政について 北海道産業保健総合支援センター副所長 丹羽 裕彰 ・ストレスチェック制度を知る －制度制定の背景と概要－ 札幌心身医療研究所長 久村 正也 ・チームで進めるこれからの産業保健サービスのあり方 －日本産業衛生学会政策法制度委員会提言より－ 北海道大学環境健康科学研究教育センター特別招へい教授 岸 玲子	生涯研修 更新1・専門2	【日本産業衛生学会 北海道地方会事務局】 (0166-68-2402) Mail: jsohhokkaido-office@umin.ac.jp
平成28年3月11日(金) 18:30～20:30	北海道建設会館 (札幌市) 定員:50名 (事前に申し込みが必要です)	・医療福祉従事者の退職の調査 ・疫学から見たがんのリスク 北海道医療大学看護福祉部生命基礎科学講座教授 西 基 北海道産業保健総合支援センター所長 三宅 浩次	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701)
平成28年3月15日(火) 18:30～20:30	室蘭・登別保健センター (室蘭市) 定員:80名 (事前に申し込みが必要です)	・産業医のストレスチェックへの対応と面接指導の在り方 北海道労働保健管理協会相談役・医療本部長 清田 典宏	基礎研修 後期2 生涯研修 専門2	室蘭市医師会 (0143-45-4393)
平成28年3月18日(金) 18:30～20:30	小樽市医師会館 (小樽市) 定員:80名 (事前に申し込みが必要です)	・労働衛生行政をめぐる情勢について 小樽労働基準監督署長 八島 寿春 ・職域におけるハザードとリスクの考え方 旭川医科大学医学部健康科学教授 吉田 貴彦	基礎研修 後期2 生涯研修 更新1・専門1	小樽市医師会 (0134-22-4111)
平成28年4月19日(火) 18:30～20:30	小樽経済センター (小樽市) 定員:30名 (事前に申し込みが必要です)	・過去に発生した職業性疾患を考える －化学物質による発生事例の検討－ 北海道労働保健管理協会産業保健部次長 相澤 和幸	生涯研修 実地1・専門1	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701)

*開催日が太字のものは、本号より新たに掲載されたもので、現在日医認定産業医制度指定研修会として日本医師会に承認申請中です。

注1:新規認定のためには、基礎研修50単位以上(前期研修14単位以上、実地研修10単位以上、後期研修26単位以上の合計50単位以上)の修得が必要です(前期研修については、総論2単位・健康管理2単位・メンタルヘルス対策1単位・健康保持増進1単位・作業環境管理2単位・作業管理2単位・有害業務管理2単位・産業医活動の実践2単位のそれぞれの単位修得が必須)。

注2:更新認定のためには、認定取得後の5年間に生涯研修20単位以上(更新研修、実地研修、専門研修各1単位以上の合計20単位以上)の修得が必要です。